◇高松市の家計（令和６年平均）◇

家計調査は、国民生活における家計収支の実態を把握して、景気動向の重要な要素である個人消費の動向など、国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料を提供するため、昭和 21 年から総務省統計局が都道府県を通じて毎月実施している統計調査です。

全国の世帯のうち学生の単身世帯などを除いた世帯の中から 168 市町村、約 9,000 世帯を抽出して調査し、その結果から全国の世帯の家計収支を推計する方法（標本調査）を利用しています。

このほど、家計調査報告（令和６年平均）の調査結果から、家計収支の状況について取りまとめました。

●家計調査の結果（高松市）

・二人以上の世帯　１世帯当たり１か月間の支出　＜表１＞

消費支出（平均 297,039 円）（前年比名目：3.57％の増加）

・二人以上の世帯のうち勤労者世帯　１世帯当たり１か月間の収入と支出　＜表２＞

実収入（平均 634,000 円）（前年比名目：0.19％の増加）

消費支出（平均 329,706 円）（ 前年比名目：1.43％の増加）

・二人以上の世帯　貯蓄及び負債の１世帯当たり現在高　（令和７年５月頃公表予定）

※高松市の調査結果は調査対象世帯が少なく、毎月一定数交代しているため、数値の変動が大きくなる可能性があります。あくまでも参考値としてご利用ください。

図1 １世帯当たり1か月間の主な支出の推移
二人以上の世帯（高松市）

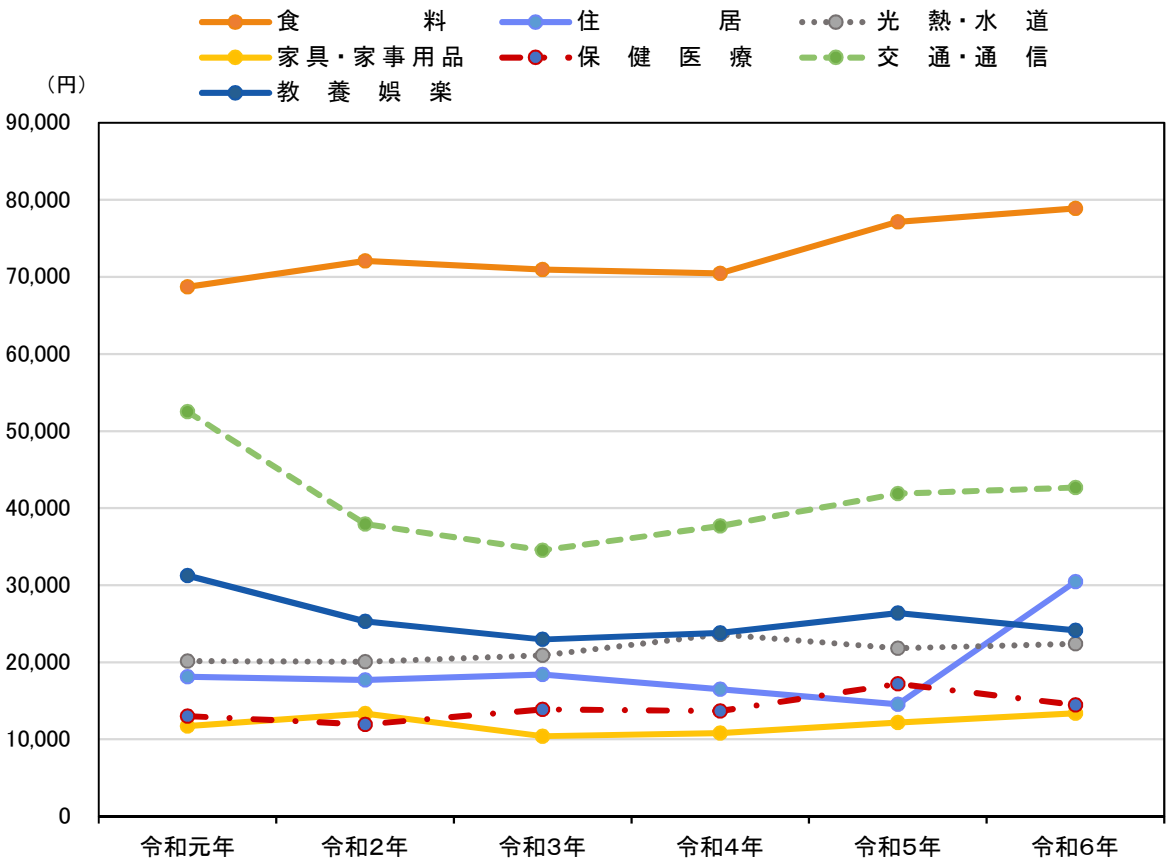
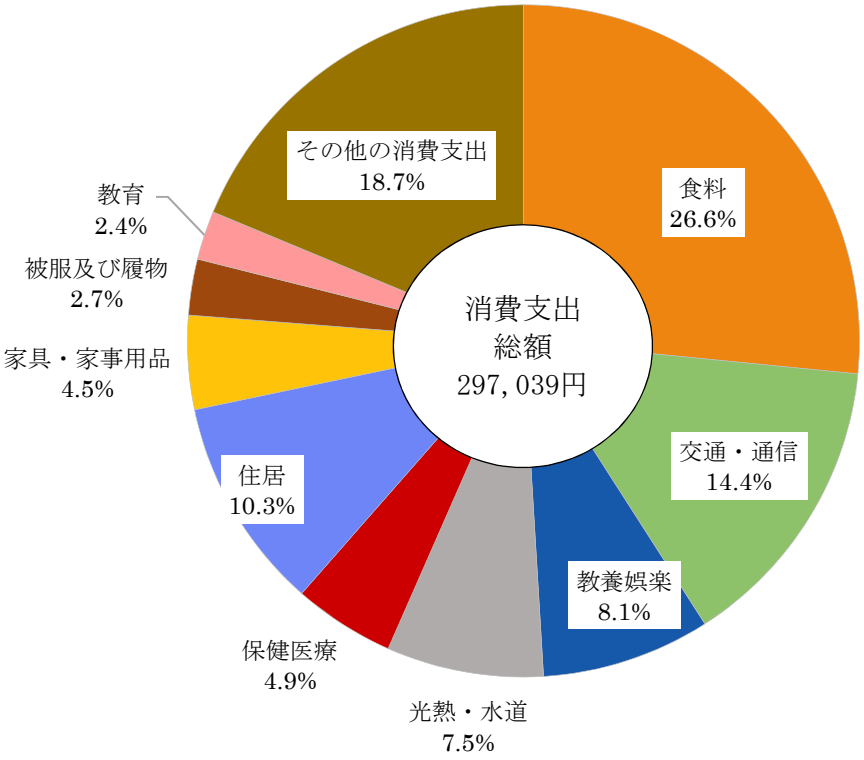
図２　１世帯当たり１か月間の消費支出の構成比
二人以上の世帯　（令和６年平均・高松市）